

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.25号> 2013年 3月1日発行

ごあいさつ

桃の節句の華やかさは、女兒の健やかな成長を願うばかりでなく、待ち侘びた春の訪れを祝うように、鄙びた山里の端々までも瑞々しい新しい季節の息吹きで満たすようです。

東日本大震災から三年目の春が巡って来ました。原発問題については、未だその是非が活発に議論されておりますが、再生可能エネルギーの開発促進が急がれる中、先駆けを担うトヨタ自動車の国内事業が、円高是正の追い風を受けて2012年度、5年ぶりの黒字化見通しとなり、ようやく明るい兆しが見え始めました。

流通業界でも景気浮揚感を背景にベアが実施され、他企業の春闘の動向へも波及しているようです。

企業の過去の赤字に基づく控除等のため、即 市の税収増に結びつくわけではありませんが、デフレ脱却の好機と捉え、行政サービスの改善を実感できる日が一日も早く訪れるよう、微力ながら精進して参ります。



刈谷市議会議員



【後援会事務所】	
刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel.	0566-36-3870
Fax.	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp



歳時記

3月 3日 (日)	桃の節句	巡り来る新しい季節、芽吹く命が
5日 (火)	啓蟄	躍動する いよいよ春の到来です。
8日 (金)	国際女性デー	菜の花に始まり、梅・桃・桜と
14日 (木)	ホワイトデー	花の前線が 駆け上って行くとともに
17日 (日)	彼岸の入り	たくさんのイベントが目白押し……
20日 (水)	春分	五感を澄まして、この春を存分に
23日 (土)	彼岸明け	体感しましょう☆

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



ワクワク！ドキドキ☆ ちびっ子が瞳を輝かせるお伽の国。大きな歓声が上がります。積み木細工や飛行機・夢のお家、憧れの秘密基地は思いのままです。
← さて、ここはどこでしょう？

2/1発行の<No.24>の答えは、板倉町の曙公園入り口付近にある 地下道を彩る 壁画でした。

東刈谷小学校6年生児童の手による 力強い作品は圧倒的な存在感をもって、歩行者に語りかけます。



"古楽器" への招待 ☆

春の訪れとともに、軽やかな季節にちなむコンサートが、あちらこちらで催されています。ヴィバルディの"四季より・春"などは、四季のある日本人の好むクラシックの一つではないでしょうか？

それを遡ること百年以上前、ヨーロッパの中世～ルネサンス音楽においては、古楽器 ヴィオラ・ダ・ガンバやリュート・チェンバロ(英名ハープ・リット)など、今では廃れた楽器が使われていました。

しかしながら音量が小さい・強弱がつけ難いなど様々な理由でそうした弱点を補う楽器に改良され、徐々に姿を消して行きました。

ピアノの前身・チェンバロは鍵盤を押えて弦をはじき演奏しますが、そのシャカシャカとした独特な音色は、バッハを始めバロック音楽のいかにも古典的、且つ華美でない 厳かな雰囲気醸し出しています。

更に歴史の古いリュートは、シルクロードを経由し中国から日本へ、名を琵琶と変え、平家物語を語るに 無くてはならない存在です。

このような古楽器を使った演奏会、ぜひ一度ご体験をお薦めします。

3月の行事予定

2月 14日 (木) ~ 3月22日 (金)	3月定例議会
3月 7日 (木)	刈谷南中学校卒業式
10日 (日)	刈谷市消防団観閲式
13日 (水)	刈谷知立環境組合 3月定例議会
18日 (月)	住吉幼稚園卒園式
19日 (火)	衣浦小学校卒業式

“まじめに、コツコツ、即行動”
頑張ります!!



2月のフットワーク

議会報告

2月14日より「3月定例議会」が始まりました。
(会期は～3月22日までの37日間)

1) "平成25年度施政方針および議案大綱"・・・(刈谷市長より説明)

【施政の方針】 昨年に続き、第7次刈谷市総合計画における“5つのまちづくりの基本方針”に沿った着実な行政の推進。25年度は、行政経営改革プランを策定し、行政効率の更なる向上や刈谷城築城480年記念行事を通し郷土愛を育む事業の展開。

(1)「都市と自然が織りなす 住みよいまちづくり」

刈谷駅南口周辺やJR逢妻駅の利便性および安全性確保、大災害を想定した公園整備や再生エネルギーによる電力確保の実証実験 等

(2)「生きる力を育み 喜びを実感できるまちづくり」

中央児童館の施設充実の検討、子ども相談センターのオープン、刈谷城築城480年記念事業の展開、美術館開館30周年事業の展開。

(3)「人と技術で賑わいを創り 笑顔で働き続けられるまちづくり」

観光やモノづくりの情報発信の強化や企業の流出防止策等による商工業の活性化および雇用の確保拡大を促進。

(4)「支えあい みんなが元気で安心して暮らせるまちづくり」

健康増進のための検診負担の軽減や身障・要介護・要支援者への住環境改修補助の拡大、保育所新設による待機児童解消、通学路の安全対策や防災ラジオ購入支援・防犯カメラ設置による防災・防犯の充実。

(5)「市民と行政の 信頼と協働で築くまちづくり」

タウンミーティング継続による市民の意見を行政に反映、事務事業改善や行政評価継続による行政改革の促進、公共施設維持保全計画による公共施設の質の確保とコストの平準化推進。

2) "平成25年度教育行政方針"・・・(教育長より説明)

【教育行政方針】『子どもから大人まで、夢と生きがいを持ち、生涯を通して学び続ける』姿を目指し、その環境整備に努める。

(1)「学校教育の充実」「当たり前の事が当たり前にできる子」の育成

「知」「体」「徳」の3本柱で推進

- ① 子どもたちの聴く力、考える力、表現する力を高める授業の充実。
- ② 物事に取組む意欲を醸成する「体づくり運動」を重視した教育推進。
- ③ 「豊かな心の育成」のため、読書・芸術・文化教育の充実。

(2)「生きがいをもつ 生涯学習都市づくり」

刈谷市生涯学習推進計画、文化振興基本計画およびスポーツマスタープランに基づき、生きがいを持った 心豊かな人づくりに努める。

- ① 生涯学習の推進 ② 文化芸術の普及振興 ③ スポーツの普及と振興

3月定例議会で一般質疑に登壇(3月1日)

『刈谷市の今後の人口動態に対する課題について』

国では今、2015年に向け高齢者人口が急増、10年後の2025年には医療・介護等の社会保障費が更に増幅し、財政が極めて厳しくなるとされている。これが、いわゆる「2025年問題」として注目されている。刈谷市も将来の高齢化と財源確保は大きな課題と捉え質問を行なった。



	質問内容 (抜粋)	当局答弁
1	介護保険の一般財源繰り出し金を例に、10年後の予測はどうなるのか、また今後の高齢者福祉への課題認識をどう捉えているのか？	介護保険の現行制度を前提にした試算では、平成25年度予算の1.6倍(9億→15億円)となり、今後も税収増が見込めないため、事業見直しや効率化を一層進め、歳出抑制に努めなければならない。
2	行政改革や税収を増やす、また歳出を抑えるなど、財源確保に向けた今後の取組みは？	成果重視の改善施策の明確化、公共施設維持管理費の平準化施策、若い世代の定住化を促す施策の促進、介護予防事業の充実、生活保護受給者への就労支援体制の充実 等の推進を図って参ります。

各種行事に参加



刈谷市「子ども会大会」出席
年間優良子ども会やフラワーコンクール表彰がされました。



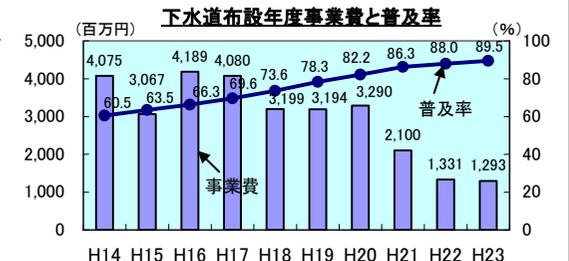
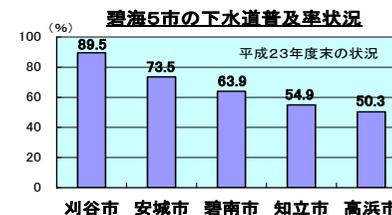
刈谷市「婦人会大会」出席
婦人会の年間活動経過と活動事例が紹介されました。



ユタカ議員協議会「研修会」
国の税制改正および愛知県のH25年度予算における地方への影響について研修。

★★★ 市政ピックアップ ★★★

刈谷市の下水道事業の状況



平成23年度末の全国下水道普及率は75.8% (岩手・福島除く)、愛知県は72.9% (但し、名古屋市を除くと61.7%) で、1位は名古屋市、2位は知多市、刈谷市は第3位の89.5%、水洗化率は79.8%となっており、衛生環境は非常に良い。